



聖徳大学生涯学習研究所主催 平成28年度テーマ別研究会

子育て支援学 体系化のための ワークショップ



日時／2016年**10月29日**(土)13:30～16:45

会場／聖徳大学生涯学習社会貢献センター14階

千葉県松戸市松戸1169

J R常磐線・新京成線 松戸駅下車、東口徒歩1分

主催／聖徳大学生涯学習研究所

共催／日本子育て学会

参加費／無料（要申込）

※詳しくは裏面をご覧ください



内容

聖徳大学は、「保育の聖徳®」として、子育て分野において、多くの研究・実践を積み重ねてきました。また、2005年～2009年には、文部科学省の指定を受け、「連鎖的参画による子育てのまちづくりに関する開発的研究」を様々な専門分野を持った教員がまとめあげました。

また、日本子育て学会は、これまでの保護者、支援者、研究者の三位一体の学会活動をもとに、子育て者や子育て支援者のニーズに立脚した子育て支援学の体系化を目指しています。

同学会との協働により、蓄積してきた知見を互いに交流した、親や支援者のワークショップ成果「私たちにとっての子育ての課題」を発表します。

その成果をもとに、講評を受けて、現代社会に求められている子育て支援学の体系化の方向を探ります。

お問い合わせ 聖徳大学生涯学習研究所

〒271-8551 千葉県松戸市松戸1169

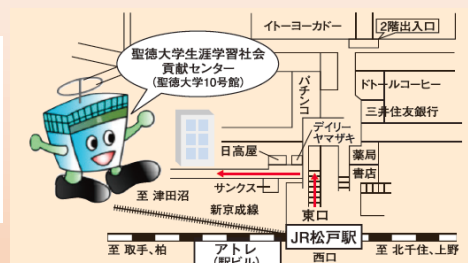
聖徳大学生涯学習社会貢献センター
(聖徳大学10号館)6階

TEL:047-365-5691 FAX:047-365-5692

URL: <http://www.tunagari.jp/> MAIL: frontier@seitoku.ac.jp

<http://www.facebook.com/seitokusyougai>

生涯学習研究所HP



子育て支援学体系化のためのワークショップ 申込書

タイムスケジュール

13:00	開場
13:30～13:35	挨拶
13:35～13:45	「日本子育て学会が目指すもの」 講師：青柳 肇 氏（日本子育て学会理事長、早稲田大学名誉教授）
13:45～13:50	本研究会の趣旨
13:50～15:30	「私たちにとっての子育ての課題」 親チーム・学生チーム成果発表
15:40～16:25	講評 講師：青柳 肇 氏（日本子育て学会理事長、早稲田大学名誉教授） 望月 雅和 氏（日本子育て学会研究プロジェクト推進委員長、小田原短期大学保育学科通信教育課程特任講師） 塚本 美知子（聖徳大学短期大学部保育科（第一部）長） 司会：西村 美東士（日本子育て学会研究交流委員長、聖徳大学生涯学習研究所研究員）
16:25～16:45	討議とまとめ 「子育て支援学体系化の方向」 「生身（なまみ）の親」のニーズを出発点として、個人と社会の成員としての親の両面を確認しながら、子育てとともに、親の「花の人生」の一環としての子育ての時期をより充実したものになりたい。そのために、ここでは、ワークショップ成果及び講師講評において指摘された課題をもとに、「子育て支援学の体系化」をめざして討議（15分間）とまとめ（5分間）を行います。

申し込み方法

電話の場合：047-365-5691（氏名・連絡先を伝えてください。）

FAXの場合：047-365-5692（下記の参加申込書をご利用ください。）

Eメールの場合：frontier@seitoku.ac.jp（件名に「10月29日ワークショップ参加申込」を明記し、氏名、ふりがな、連絡先、メールアドレス、所属団体をご記入下さい。）

※定員に余裕がある場合、電話のみ当日受付も可能です。

「子育て支援学体系化のためのワークショップ」参加申込書

参加希望の方は下記にご記入の上、このままFaxでお送りください

Fax: 047-365-5692

(ふりがな)	氏名(複数の場合は代表者)		
氏名	代表者以外の申込人数		人
年齢 (差支えない範囲で)	歳	職業	
住所・連絡先	〒		
	TEL	FAX	
メールアドレス			
所属団体			